

カラフル猫の世田谷パーパー

私はこの課題で初めてリデザインをしました。
他人がデザインしたものをデザインし直すというのは思っていた以上に難しく、特に裏面は繰り返し、繰り返し、作り直しました。
世田谷は明るく子供が住みやすいイメージがあり、招き猫の発祥地でもあることから、表面には大きく招き猫を描き、更に世田谷をイメージした明るく、多彩な模様で埋め尽くしました。全体的にカラフルで元のものよりも色で目を引くようなデザインにしました。

使用ソフト
使用物
サイズ
210 × 297 mm



世田谷のまちと暮らしのチカラ

まちづくりの歩み50年

主催
世田谷まちづくり
運営委員会
公益財団法人せたがや文化財団法人
生活工房
一般財団法人世田谷トラストまちづくり

協賛
小田急電鉄株式会社
京王電鉄株式会社
株式会社世田谷サービス公社
東急株式会社

助成
公益財団法人東京都振興公社
公益財団法人東京都振興公社

後援
世田谷区
世田谷区教育委員会

2025.
1.31金 - 4.21月
9:00-21:00 入場無料・月曜休み (祝日の場合は開館)

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

生活工房

生活工房ギャラリー+ワークショップルーム B

世田谷区は、鉄道が敷設されたことをきっかけとして1920年代に都市化が始まり、急速に広がるまで過激の郊外として発展してきました。たくさんの人が集まり住むことになり、そこに独自の文化が生まれます。いっせいに及ぶ都市化のなか、世田谷で発展したそのような文化の一つに、「まちづくり」があります。この言葉が広く世の中の人々に知れ渡るようになったのは1970年代のことです。世田谷区では住民参加を掲げ、1980年代からまちづくりや公共施設の設備が進められました。また、よりよい地域づくりには区民の参加が不可欠として、1990年代以降、区民の様々なまちづくりの活動を支援するしくみが生まれました。まちづくりは、世田谷の中でどのように発達し、何を残してきたのでしょうか。そしてそれは地域の人々の「まちと暮らし」をどう豊かにしてきたのでしょうか。

本店では、「まちづくりの空間」、「地形と都市計画」、「グラフィックデザインと都市デザイン」、「ワークショップと道具箱」、「市民のデザイン」の5つのパートにより、世田谷において住民参加のまちづくりが作り出してきた「まち」と、そこで繰り返されてきた「暮らし」を見返します。

世田谷のまちと暮らしのチカラ

まちづくりの歩み50年

2025.
1.31金 - 4.21月

未来の世田谷シンポジウム

2024年3月17日(日) 13:00~18:00
生活工房セミナールーム AB(キャロットタワー5階)
現在の活動から見えてくる「50年先の世田谷のまちづくり」とは？4つのテーマ・事例から、それぞれ活動の実践者である市民の方と企業の方にお話を伺います。

テーマ
「KOMAZAWA MOAI FARMから始まる駒澤のまちと駅のこれから」登壇：株式会社イマックス、東急電鉄株式会社
「下北沢で働く〜誰かのやってみたいが街とつながるワークプレイス〜」登壇：株式会社ヒトカラメディア、株式会社はこぶん、京王電鉄株式会社
「公共施設を核とした、新たなコミュニティ作り」登壇：さくら花見堂の会、まもりやまテラスの会、株式会社世田谷サービス公社
「企業と市民が連携した「緑の基軸作り」〜下北沢の事例から」登壇：小田急電鉄株式会社

進行＝齋藤伸(東京都立大学教授)、橋たか(まちづくりプランナー) 参加＝無料
定員＝80名/オンライン100名(申込先着順)
申込方法＝2023年12月25日10:00より生活工房WEBサイトにて受付

関連企画
ちかくのとーく vol.06 2024年2月3日(土)14:00~16:00
生活工房セミナールーム B(キャロットタワー5階)
世田谷区内でユニークな活動を行う方をゲストに招き、お話を伺うトークシリーズです。今回は特別編として展覧会実行委員のメンバーが本展の内容を深堀りします。ゲスト＝齋藤伸(東京都立大学教授)、菅子(武蔵野美術大学教授)
進行＝市川徹(まちづくりコーディネーター)
記録＝千葉晋也(まちづくりデザイナー)
参加費＝会場20名/オンライン100名(申込先着順)
申込＝2023年12月25日10:00より生活工房WEBサイトにて受付
※このほかの関連企画については、詳細チラシ次第WEBサイト等でお知らせします。

東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅
駅直結
東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所下車
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1
TEL 03-5432-1543

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

世田谷のまちと暮らしのチカラ

まちづくりの歩み50年

2024.
1.31金 - 4.21月
9:00-21:00 入場無料・月曜休み

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

表：招き猫のイラストはipadでSketchbookというアプリを使用しました。筆は従来型の鉛筆1を使用しています。普通の招き猫では満足いかず、つつい、模様を描いてしまいました。

裏：表にも使用しているタイトル文字にも拘って、このフォントは私の気に入りのAdobefontのTA-h0925を使用しています。背景は表の招き猫の柄を描くのに使用したカラーでぼやぼやと柔らかいタッチにし、少し温かみのある雰囲気になりました。

元デザイン





いつまでも
笑い合うための

介護

日々少なくなる会話と笑い声。
寂しいのに、言葉を交わせば湧き上がるイライラ。
時間と共に変わる家族の形に悩んでいませんか？

頼るのも、頼られるのも辛い介護。
あなたとあなたの家族の笑顔を守りたい。
花珠の家はご利用様を磨き上げられた真珠のような
存在として、敬意を持って寄り添います。

**045-482-5287**
受付：9時～19時（土日祝日も受付いたします）

特に身体介護を必要とされる方を対象とした「特定施設入居者生活介護」です。
現在、東京都・神奈川県に展開しております。いつでもお気軽にご相談ください！

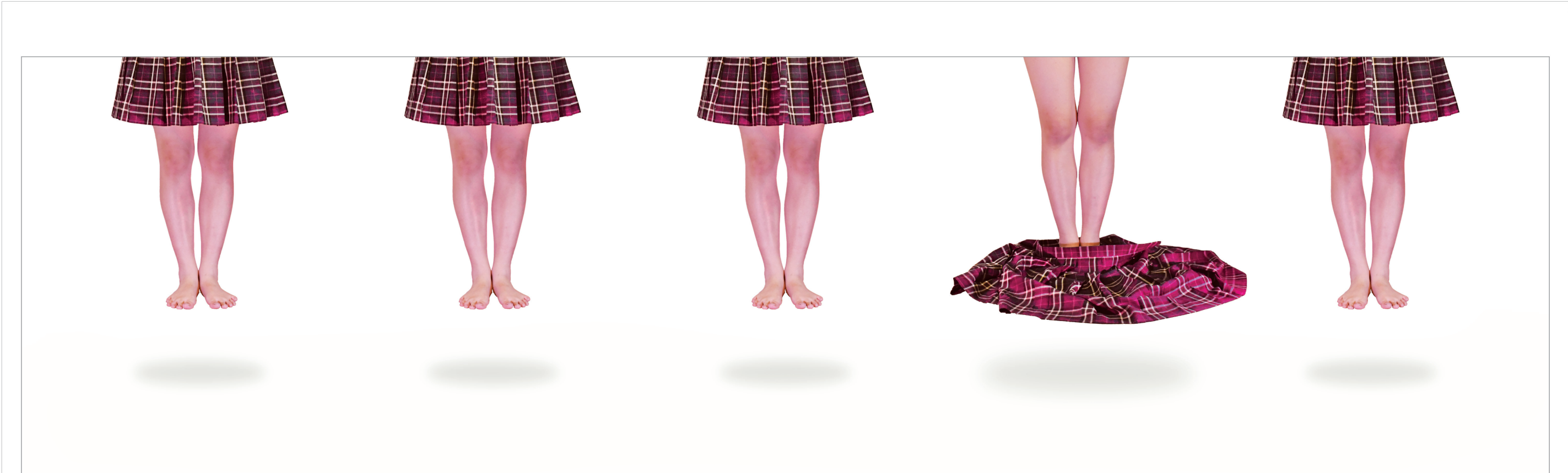
花珠の家

あったかポスター

「花珠の家」という介護施設のポスター広告を作りました。
この介護施設の名前に込められた介護への想いが素敵だったことから、その由来をベースにデザインし、ポディーコピーを考えました。
デリケートな内容のため、よくリサーチをして自身が介護についての知識を深めることから始めました。
介護はいずれやってくる重い話題というのが多くの人のイメージであるからこそ、明るく前向きな広告を意識し、トーンの高い暖色を多く使うなど、包み込むような優しいビジュアルを制作しました。

介護の広告を調べた際、情報が多く施設のメリットを只管乗せているような、無機質な広告がとても目に留まりました。私は、介護に不安を抱く人が多くいるからこそ、もっと利用者に寄り添うような広告が必要だと感じ、情報を伝えるよりも想いを伝えるデザインにしました。

使用ソフト	使用物	サイズ
	iPad	728 × 1030 mm



冬の学生祭 12/9土~12/17日 渋谷 池袋 上野

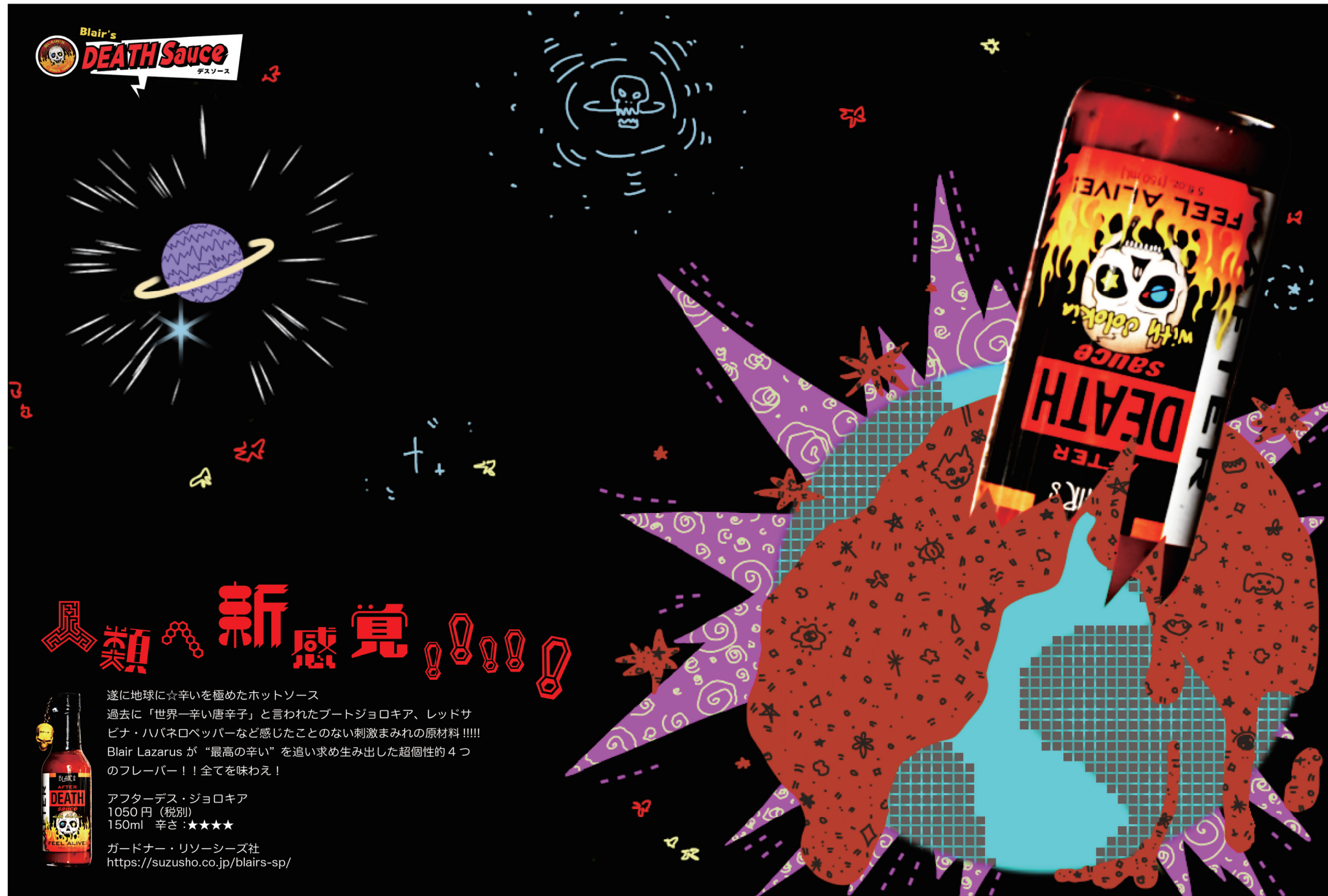
PARCO

浮き足広告

PARCO の中吊り広告をデザインしました。「もっと学生にファッションを楽しんで欲しい」をコンセプトに学生限定で割引がきくという架空のイベント「学生祭」という設定を下に作成しました。
背景はセルフポートレートの写真を素材に Illustrator と Photoshop を使用した合成写真です。

この写真は規則的に並んだ制服姿の足の中に、一つだけ制服を脱ぎ捨て足を入れることで、学生がこれからファッションを楽しもうとしている姿を描きました。少しシュールな要素を入れることで PARCO らしさを演出しました。

使用ソフト	使用物	サイズ	ターゲット
 	Nikon D7500 自分 高校のスカート	1036 × 370 mm	学生



death 広告

デスソースの雑誌広告をデザインしました。
実際に商品を購入、自ら試食し、周囲の人の協力により、感想を聞いたりなどして制作しました。

刺激の強い調味料であり、パンチの効いたデザインが売りの商品でもあることから、インパクトの強いデザインを意識しました。
背景のイラストは iPad を使用したデジタルイラストです。作品に使用している商品の写真は一眼レフで撮影、Photoshop で加工しています。

イラストと写真の質感に差が出ないよう、商品の写真の加工には力を入れました。
また、「人類への新感覚 !!!!!」というキャッチコピーには動きをだし、程よく堅苦しさを無くすなど工夫を施しました。

使用ソフト



使用物 ターゲット

iPad 自分
デスソース

サイズ
1036 × 370 mm

宇宙焼きそば

UFO の B1 ポスターを制作しました。
日清 UFO の爆盛りバーレルという通常よりも麺が増量されている焼きそばです。UFO のパンチの効いたコンセプトに合わせ、麺が異常に多いということをポップなイラストでぶっ飛び具合を演出しました。
商品のイメージに合わせること、企業コンセプトなどを意識しました。
大きなポスターのため、無駄なものは入れずに完結で分かりやすく、情報量は少なくしました。

イラストは iPad でアイビスペイントを使用して描きました。優しいパステルカラーでちょいキモいテイストのイラストという矛盾でイカれ具合を表現しています。

使用ソフト



使用物

iPad
Nikon D7500

サイズ

728 × 1030 mm





荒井良二列車

山手線のADトレインを想定して、様々な媒体の広告を作りました。今回のADトレインは荒井良二さんの最新の個展の広告です。グレースケールな現代を未来を創る子供達によって、鮮やかな世界にして欲しいという思いから、荒井良二さんの個展を選びました。サイケデリックなまでに多彩で大胆な絵本。独特のタッチに繊細で伸びやかな線。一つの電車をこの荒井良二さんの世界で埋め尽くす思いで制作しました。そのため、フロント選びやイラストは世界観を守るよう意識しています。

使用ソフト



使用物

iPad

ターゲット

子供
親
色が好きな人



-中吊り広告-
二つのデザインが背合わせになる想定で作りました。対象的な風景が表裏にあり、見る位置により全く別の景色が見えるデザインです。
またその作りやデザインに合わせて、「きみの せかい は なにいろ?」というキャッチフレーズにしました。どんな世界が見えているのか、一度考えてもらえるような作品です。また、絵本独特の子供が読みやすいひらがなで、文字の間隔の広い書き方などを再現しました。



- 使用イラスト -
ipad で Procreate を使用して描きました。

- 窓上広告 -
山手線の窓上広告はモニターになっているため、映像を想定して作りしました。実際にある絵本のワンシーンがコマドリのように動き、右端にいる象が端から端まで走っていくようなイメージです。またその動きに合わせ、上下の文字やイラストが動きます。



- 窓横広告 -
どちらも空間を意識して作りしました。
右のデザインは展示情報をメインに見せるように作りしました。そのため、文字の感覚や全体のバランスには気をつけ、何度も微調整しています。
左のデザインは他の媒体と同じように雰囲気や、作品を主に見せるようにしています。情報は少なく、大胆なこうずで目を引くようにしています。また、キャッチフレーズも大きく、つい読んでしまうようなものにしました。



newborn 荒井良二
いつも じないところへ たびするきがんだった

2024
4/20 SAT -
6/15 SAT
刈谷市
美術館

開催時間：午前9時～午後5時
※入館は午後4時半まで
休館日：月曜日（4月29日・5月6日は閉館）5月1日（公
入場料：一般1100円・学生800円・中学生以下無料
※前売券、団体料金の設定はありません。
※身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の
各手帳所持者及び付き添いの方（各）は入場無料

主催：刈谷市美術館、朝日新聞
協力：信成社、横水ハウス、宮本武典
後援：愛知県教育委員会



足裏の平凡

エディトリアルデザインの授業にて週間コラムをデザインしました。中には「社会問題」をテーマにしたクラスみんなの素敵な文章が詰まっています。表紙や挿絵として使われているイラストは、地球という一つの星をイメージして描きました。足裏は内と外の境界線であり、繋がりです。社会問題は外の事であり、すべての人が身近に感じるの難しいことかもしれません。ですが、その外の事は常に自分と繋がっていて、一見他人事に見えるようで、自分自身のことなのです。そして、そこにある平凡とは当たり前であってはいけないことや、実は当たり前ではないことがあります。その外にある平凡を自分のこととして考えてほしいという意味で「足裏の平凡」というタイトルをつけました。

使用ソフト



使用物

ipad

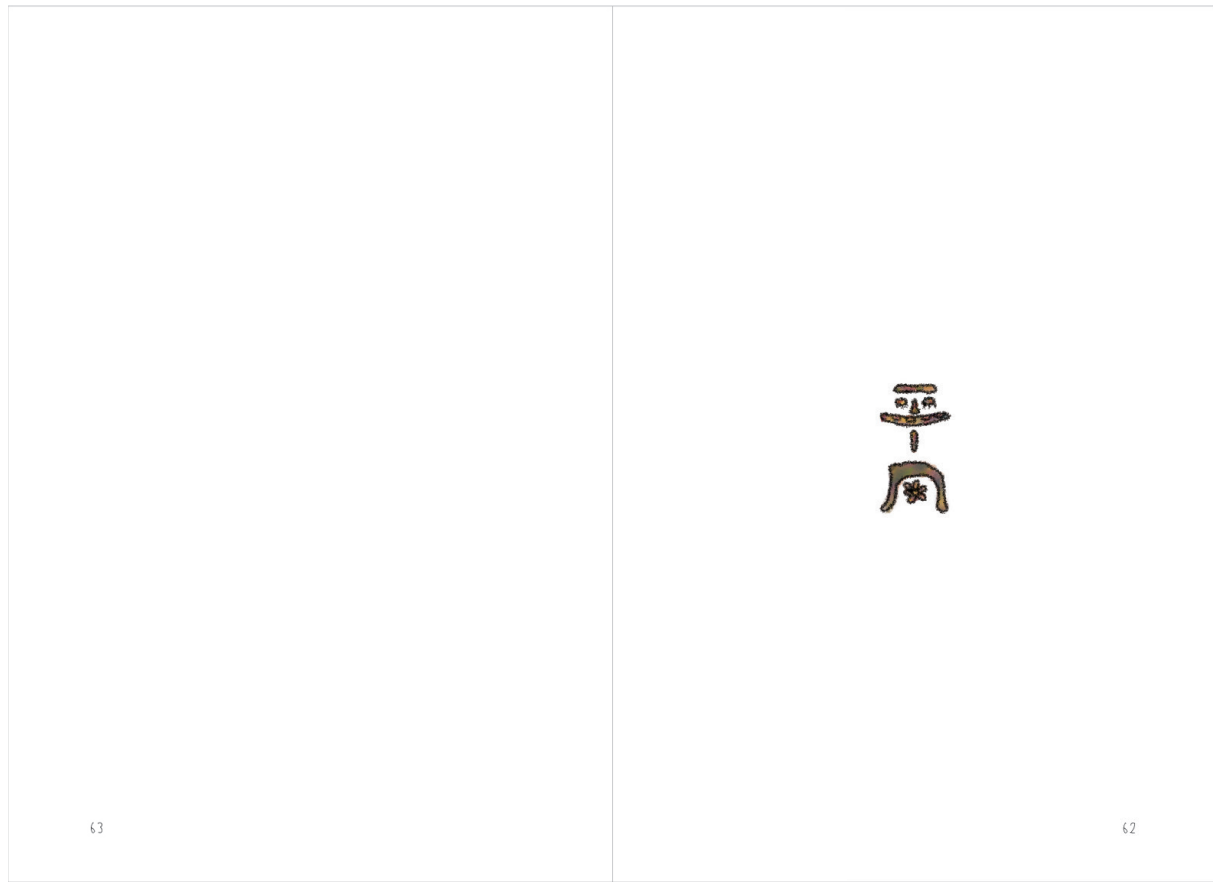
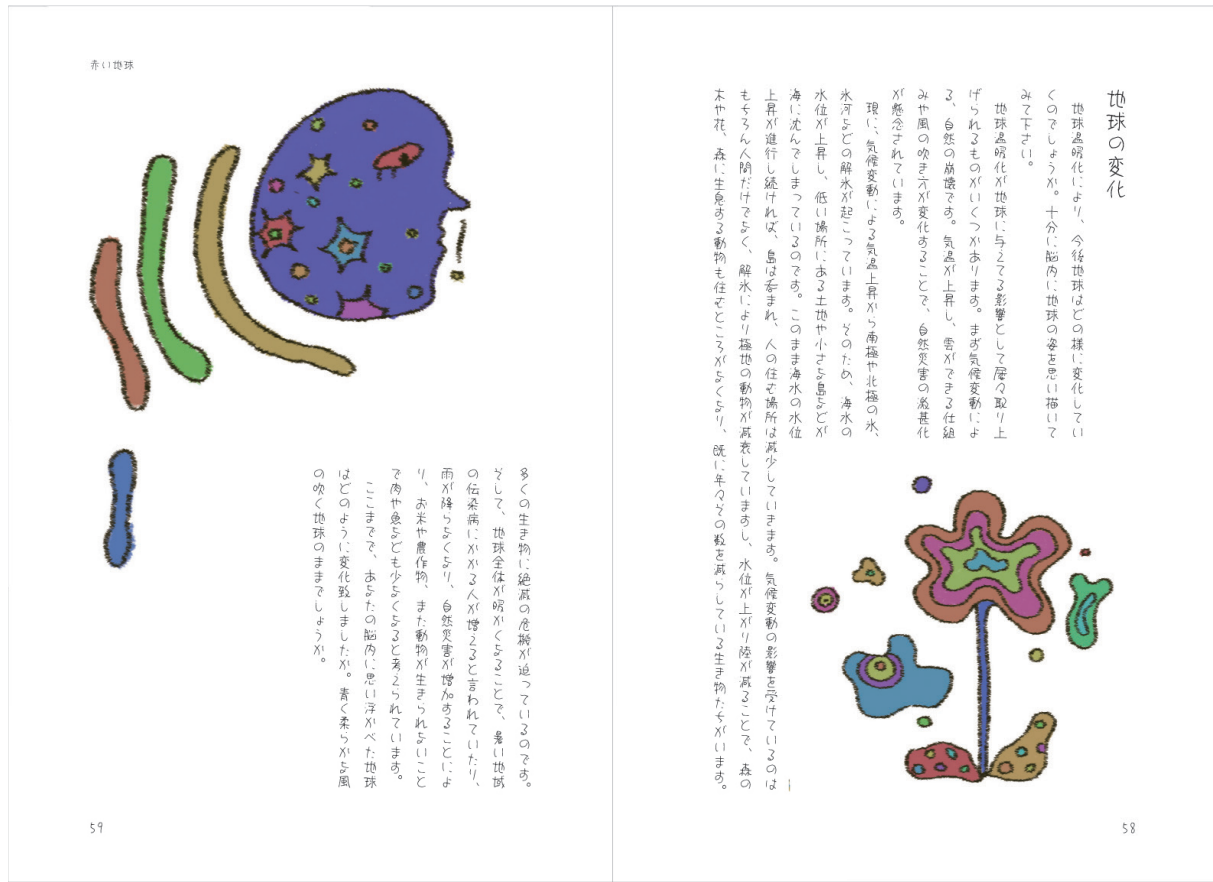
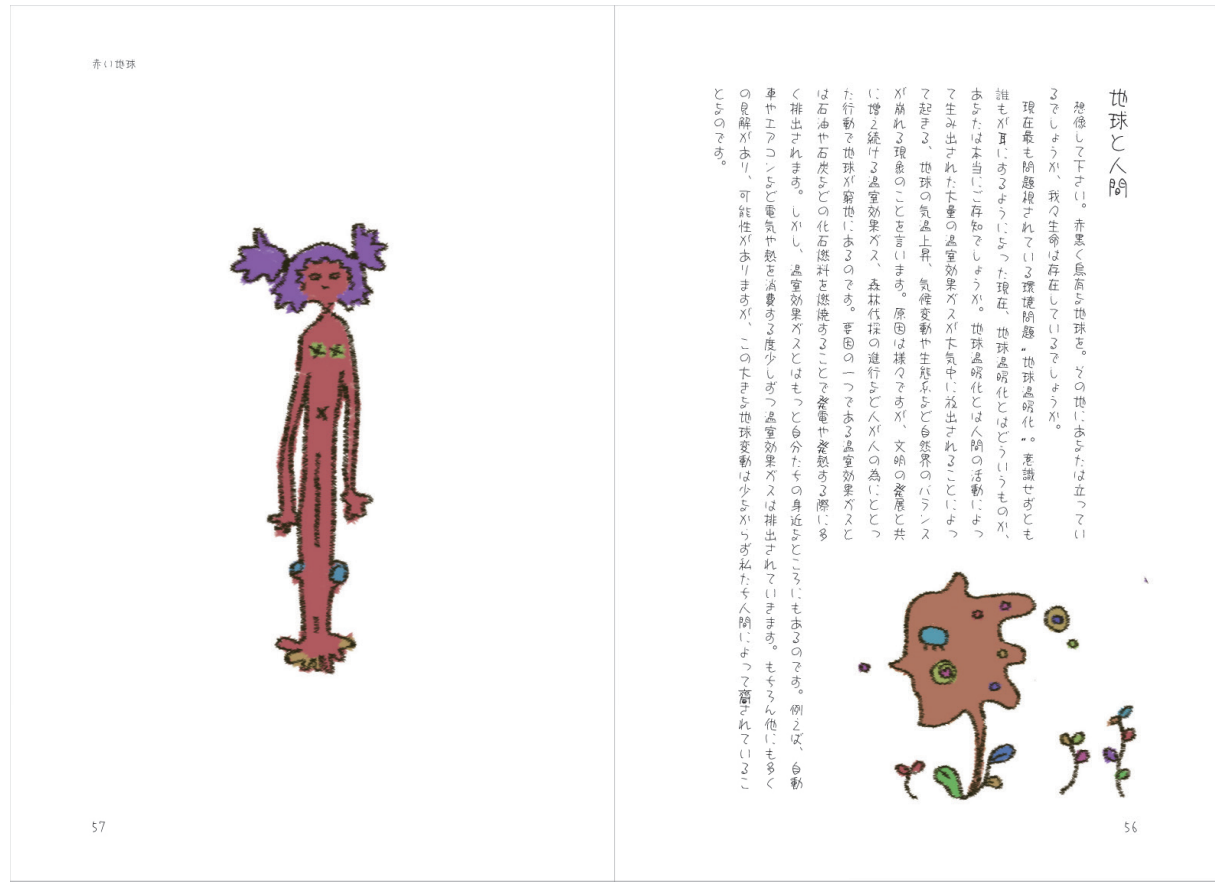
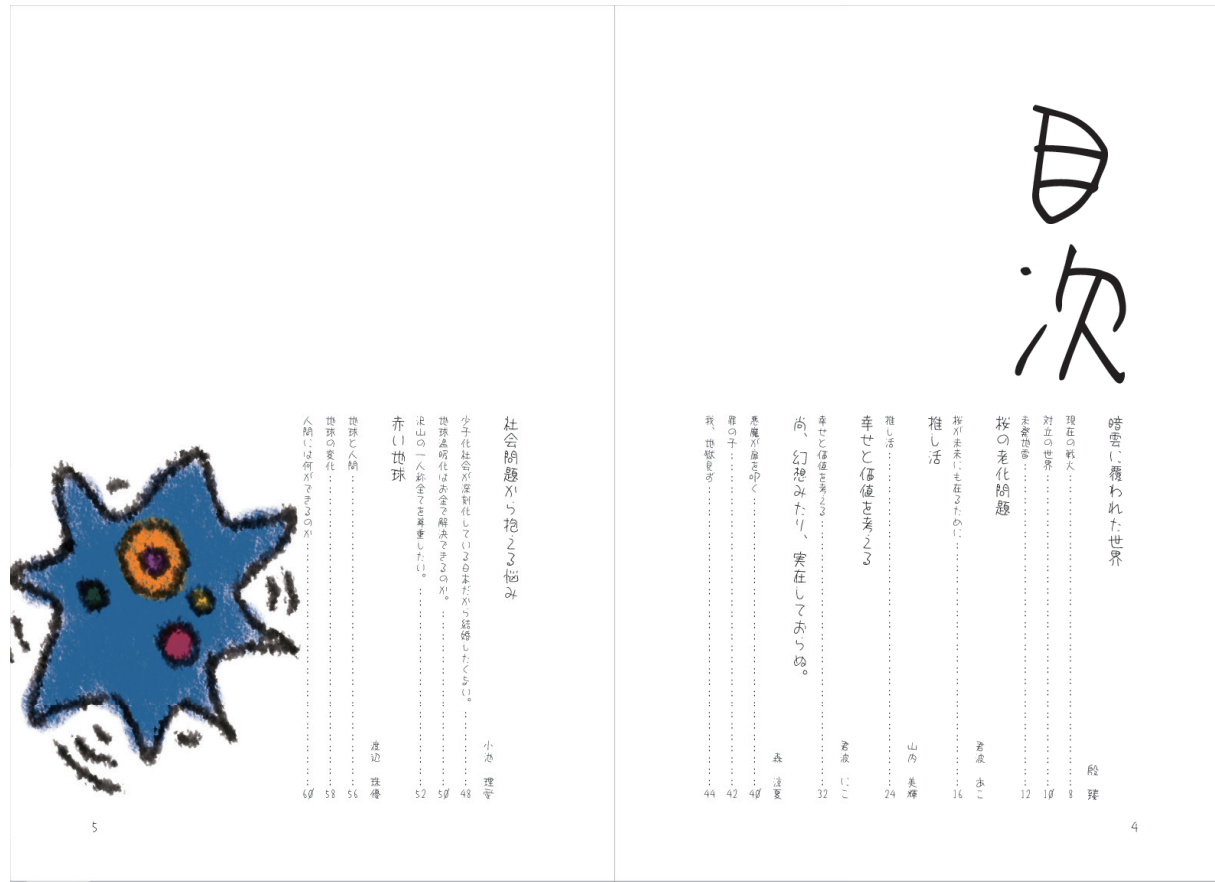
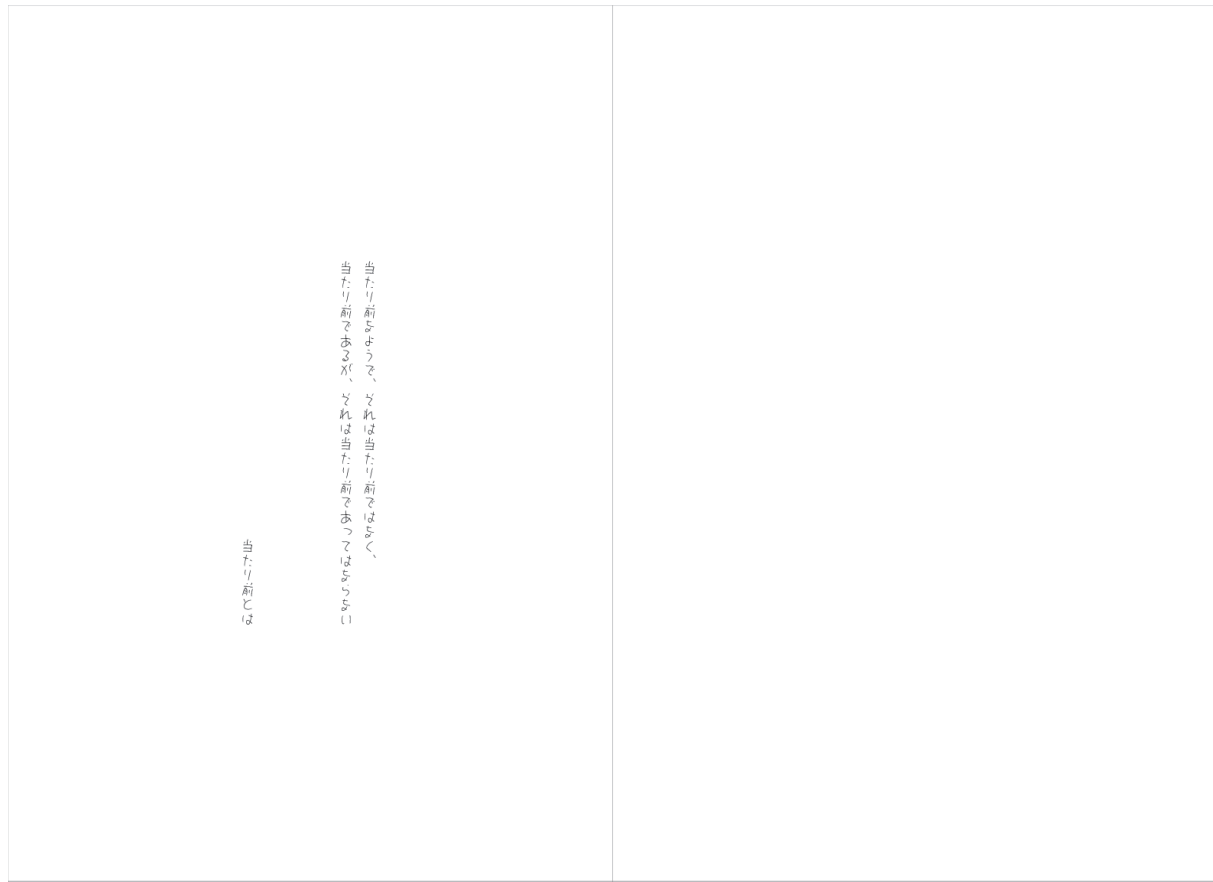
サイズ

128 × 188 mm

ターゲット

学生





惑星パンフレット



インデザインの授業で作成したパンフレットです。私は「宇宙」をテーマに、惑星集のパンフレットを作りました。
シンプルで、無駄のないデザインを意識し、余白を大事にした作品です。
文字情報は簡潔にまとめ、イラストはアクリル絵の具で描き、スキャンしたものをそのまま使っています。
アナログを感じさせる筆跡を残すため、リタッチ加工などをしていないのも特徴です。
この作品の文字は、「宇宙感」を出すため、読みやすさよりもフォントの形状、雰囲気重視して選びました。
文字組も無機質に感じるような四角を意識し、少し詰め気味な字間と均等さで「宇宙」を表現しました。

何より、このパンフレットの特徴となるのが、独特な形状です。
半円に棘の生えたようなデザインで、惑星や宇宙船から発想を得て作りました。
サイズは手のひらサイズと小さめで、どこにでも持っていける図鑑をイメージしてこのサイズにしました。
そして、マルカンを使用して閉じることで、金属質さを演出しました。

使用ソフト



使用物

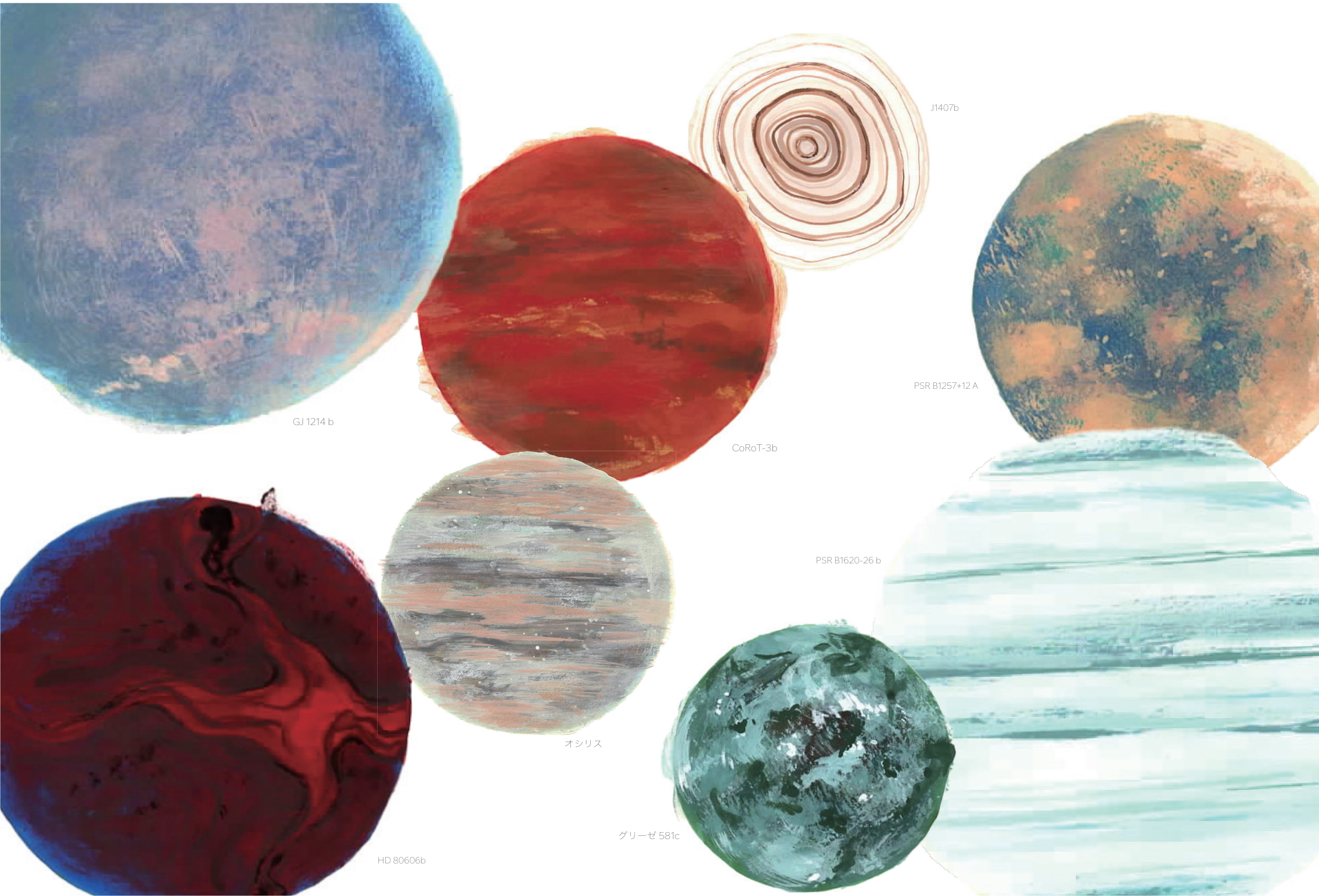
アクリル絵の具
色鉛筆

サイズ

約 115 × 60 mm

ターゲット

宇宙好き



Pを覗く

テーマ：五感の表現

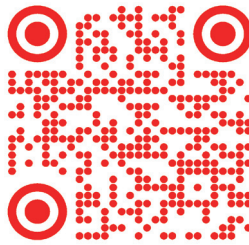
パプリカを使ったコマドリです。
真っ白な背景と真っ赤なパプリカのバキッとしたコントラストをベースに様々な動き、角度、方法によりパプリカの質感や質量などを表現しました。
例えば、ツヤっとした表面が反射する光や空洞のパプリカがコロッと落ちる瞬間や、プチッとパプリカの表面を突き破る感覚などです。これらの細かい動作の撮影にはかなりの時間を割きました。

また、コントラストの効いた画面を引き立てるように黒の模様を入れていくことで、視覚的な動きを一層強く表現しました。

サウンドにもかなり拘り、今回は動画に後付けしたため、時間をかけフリー音源の中からこの作品にハマるものを見つけ出しました。

この作品はトラブルがあり、期日の1週間前に大きな修正を入れることになりました。そのため、この作品には時間の無い中産み出たアイデアが沢山詰まっています。
ですが、これにより私のキモくて魅力的な世界観がより引き立ち、作品自体のクオリティも上げることが出来ました。この課題は色々な意味でとてもいい経験になったと思っています。

▶Play video



使用ソフト

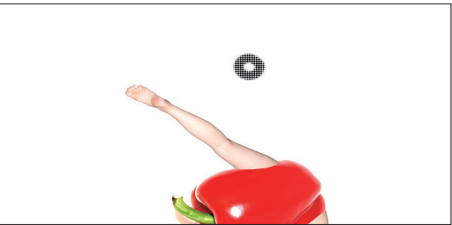
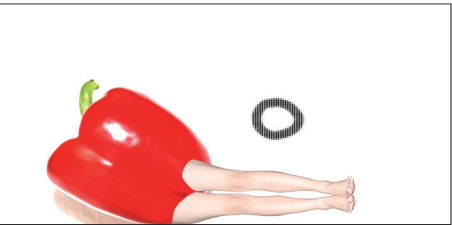
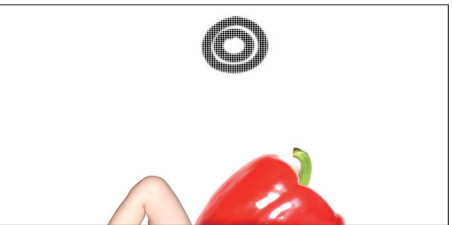
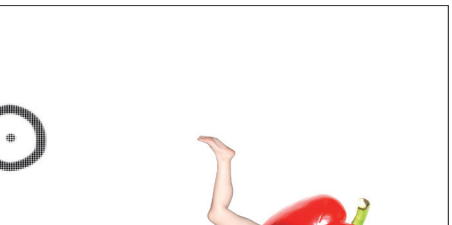
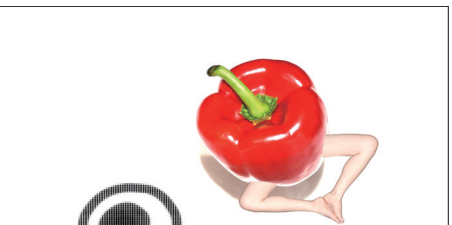
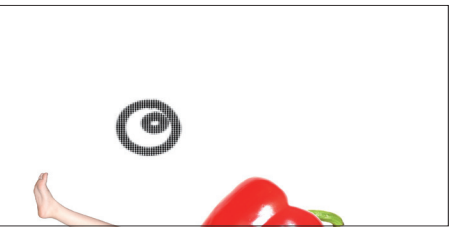
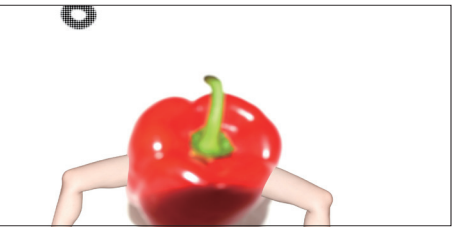
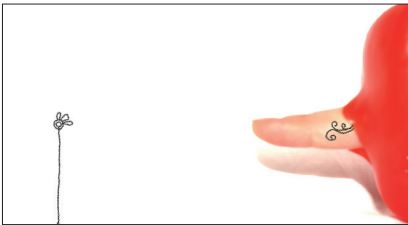
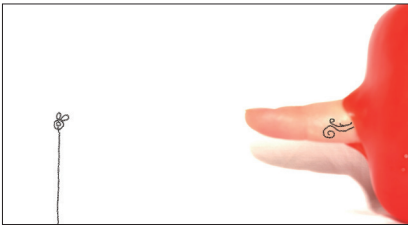
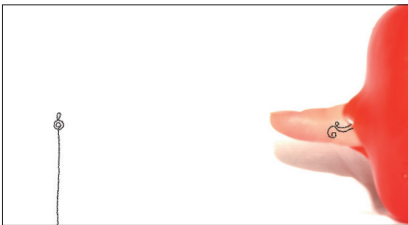
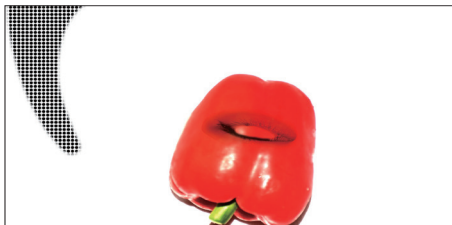
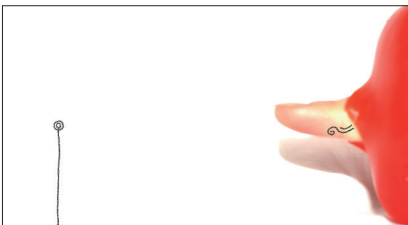
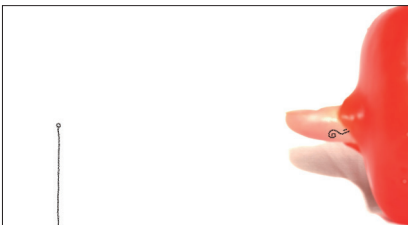
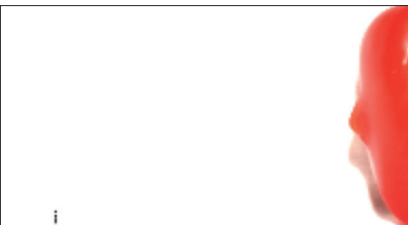
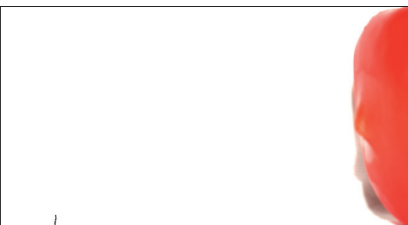
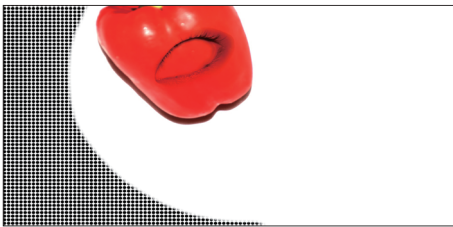
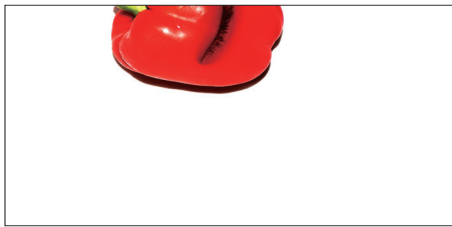
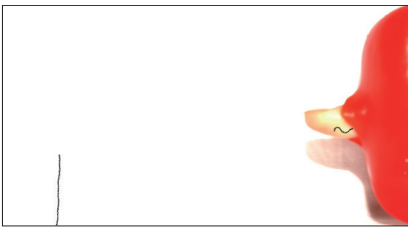
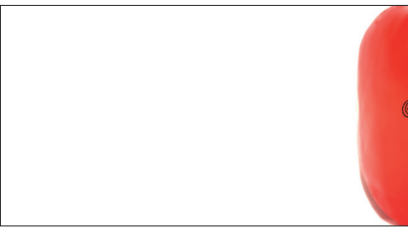


使用物

Ipad

サイズ

1920 × 1080 px





ランダムコラージュ「大矛盾」

「勸善懲惡」をテーマにコラージュと動画を作成しました。
コラージュにはクラス内でそれぞれ持ち寄った雑誌をシェアし、ランダムに回ってきた素材を使用しました。
また、そのコラージュに使用した素材をスキャンし、動画にしました。

私は善が明るく、悪が暗いという擦り込まれた潜在意識を覆す、暗い善と明るい悪をカオスに描きました。
矛盾した空気感や反転した善と悪が入り混じり、グルグルと目の回るような様子を表現しています。

使用ソフト



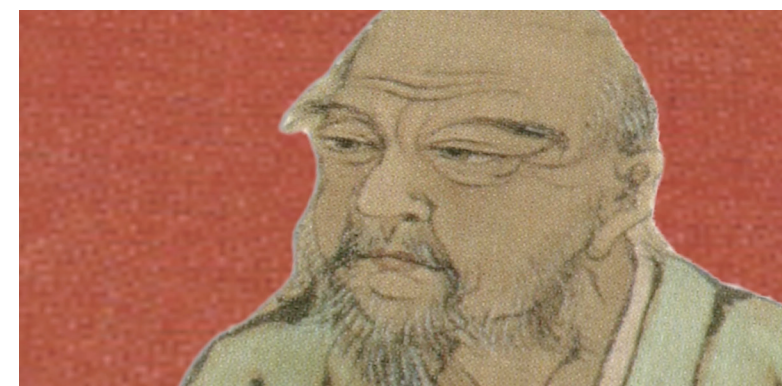
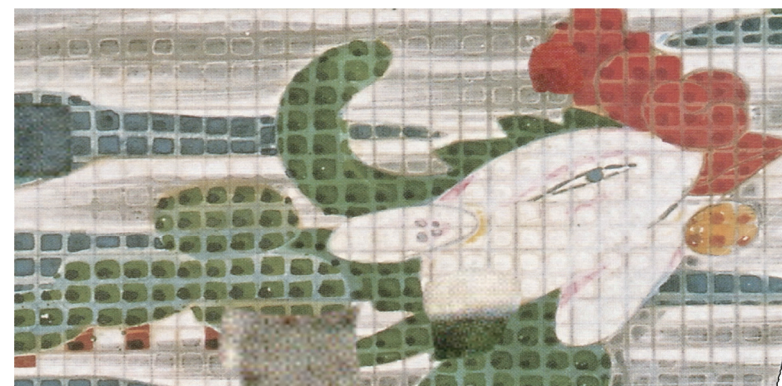
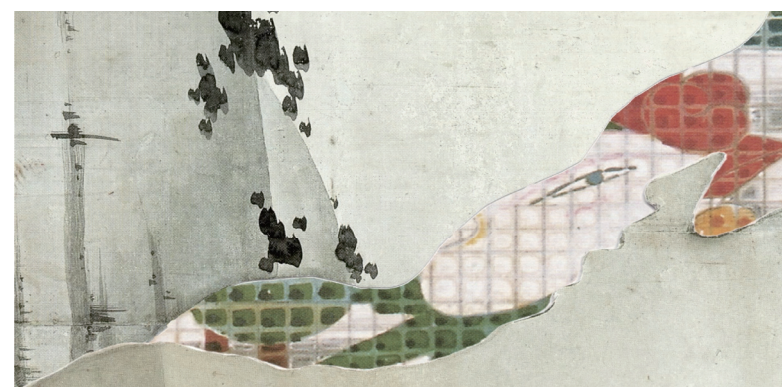
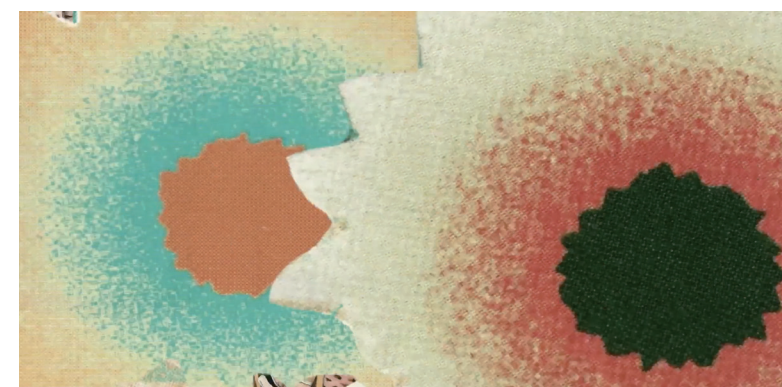
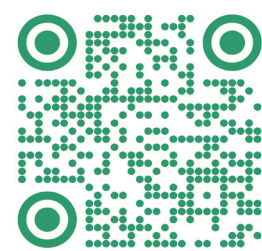
使用物

雑誌・フリーペーパー

サイズ

約 364 × 257 mm

▶ Play video



30日 foto

これは自分の将来を考える就職活動を始める直前、2024年三月の一ヶ月間写真を撮り続け、その日の一番良い写真を集めたものです。

私が何気なくカメラを向けた先、「珠優の視点」が見れる作品です。

どれも私の日常に限りなく身近なところにある写真であり

ぼーっとして目に向けた先にあった水槽や、何気ない日常の風景に隠れている素敵な形、余白と空間、いつもの友達いつもの場所で感じる今この瞬間を残したいという思いから

様々な私の思考と感性により、毎日一枚写真を撮り続けました。

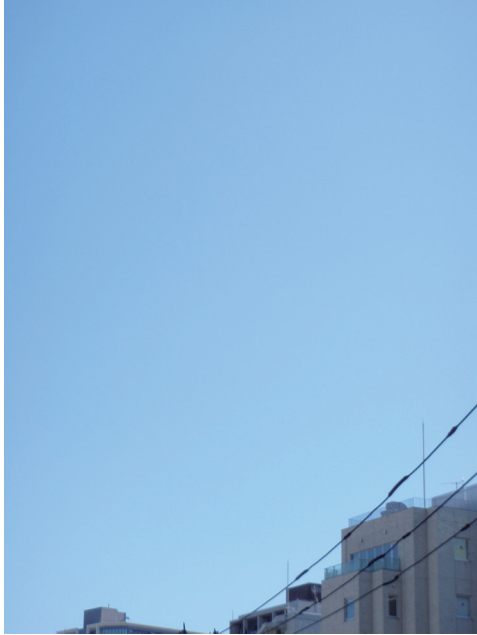
私はカメラが好きです。人間は死ぬまでの間の多くの時間の中で数えきれないほどの思い出に会い、その度に感じて表情を変えます。ですが、それらを全て記憶しておくことはできません。この上ない素敵な瞬間に出会ったとて忘れてしまうのです。

だから「今だ」という時にシャッターを切り、未来の自分へ当時の瞬間を思いだすヒントを残していきます。

私の視点を様々な角度の視点から見ていただきたいです。

使用物

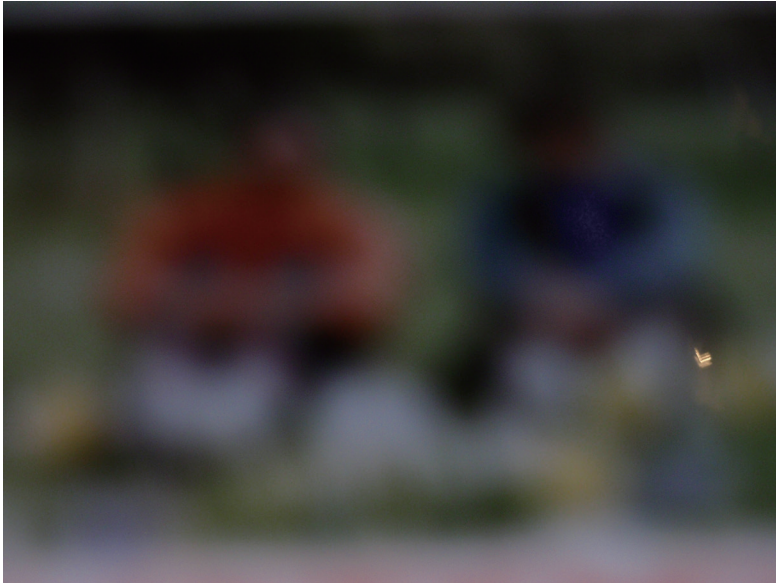
OLYMPUS μ Tough-8000



流れる余白



とある古着屋に伸



柔らかな夜にポップな刺激



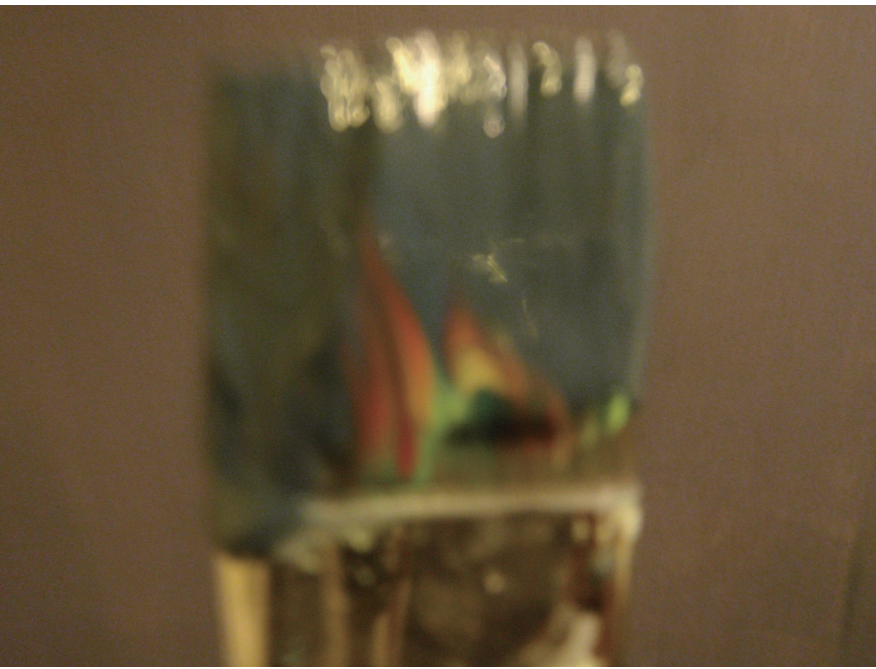
岩ゆる



夜は味方、星の敵



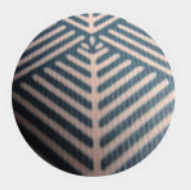
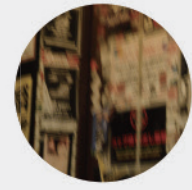
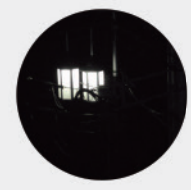
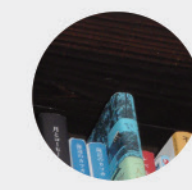
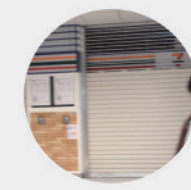
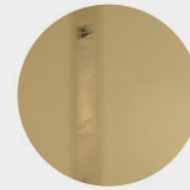
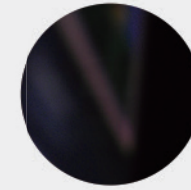
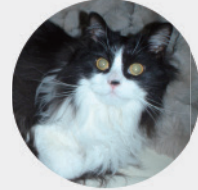
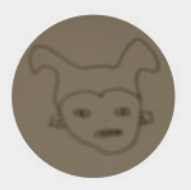
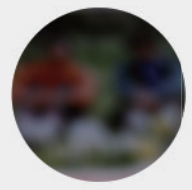
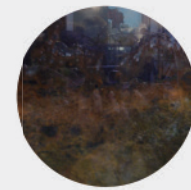
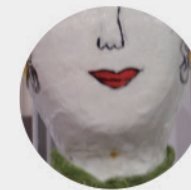
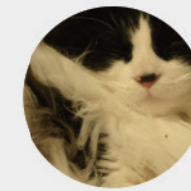
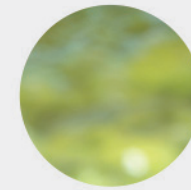
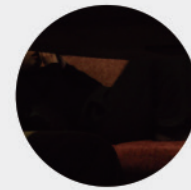
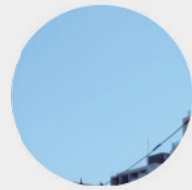
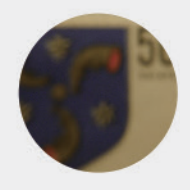
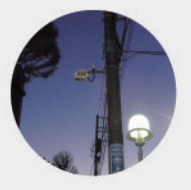
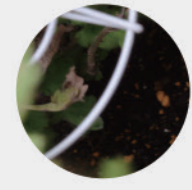
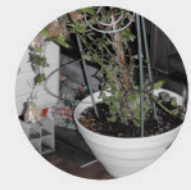
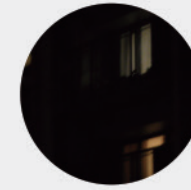
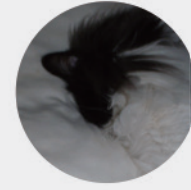
あそこに繋がる魅惑の縁に



ミクロで煙めく2時



環境活動家十円様

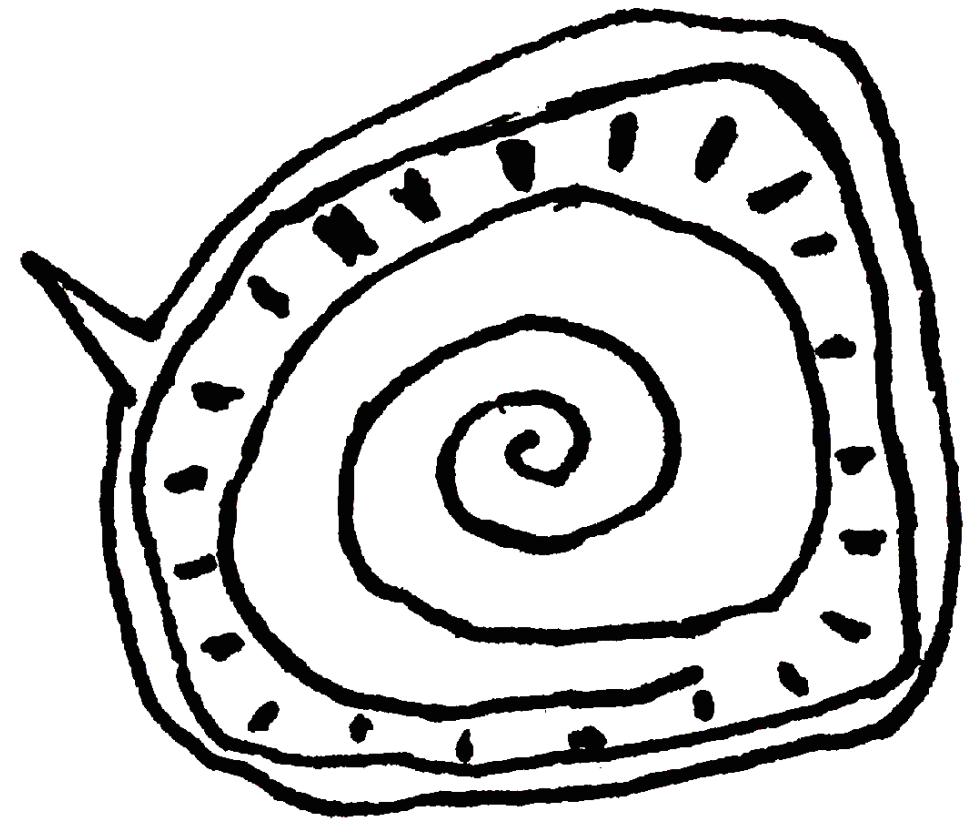


illust

私にとってイラストは頭の中の片隅を外に取り出すような感覚です。
ノートの角に描いた落書きや、無性に紙に筆を走らせたくなった時のもの、影響されるほどのアーティストに出会い突発的に描いたもの、誰かのために思いをこめて描いたものなど様々な理由で生まれたイラストがたくさんあります。
これらのイラストは私の他の作品に素材としてよく使っています。
何かの一部になる前の原石のようなイラストをお見せします。

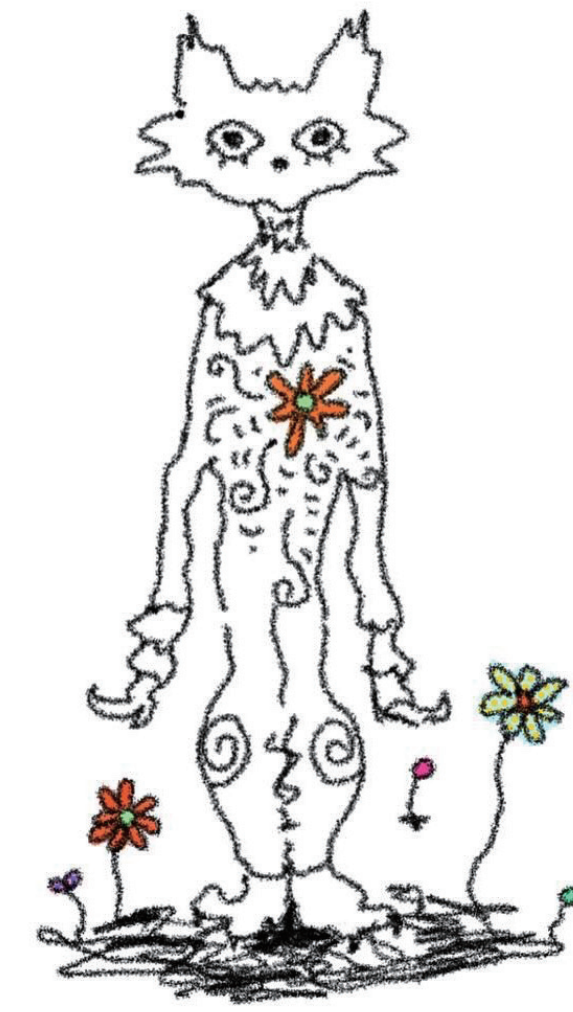
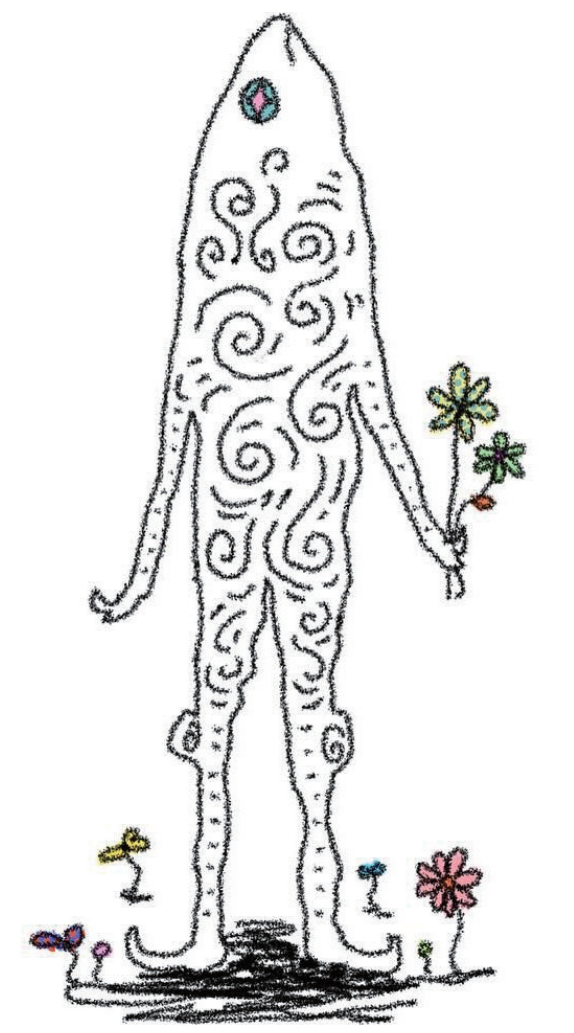
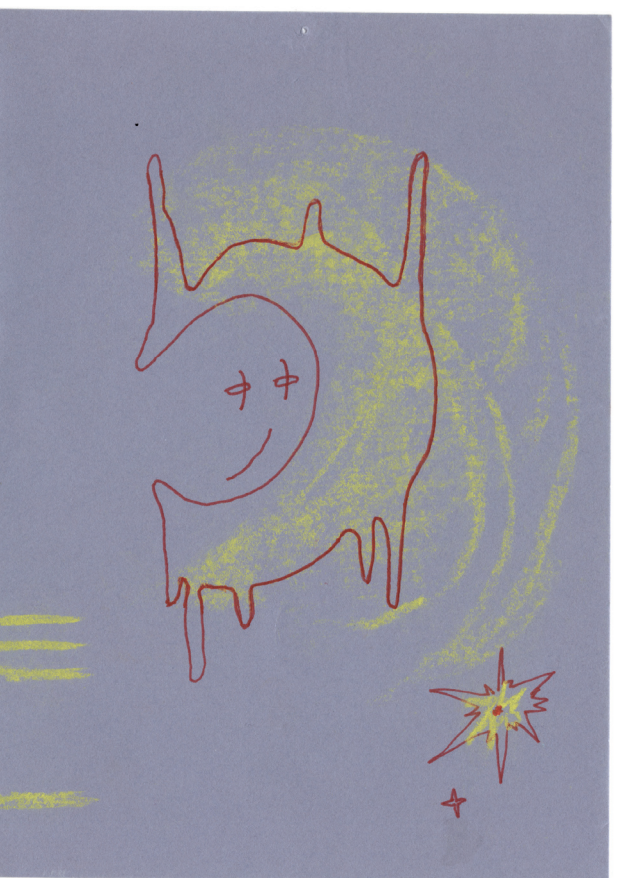
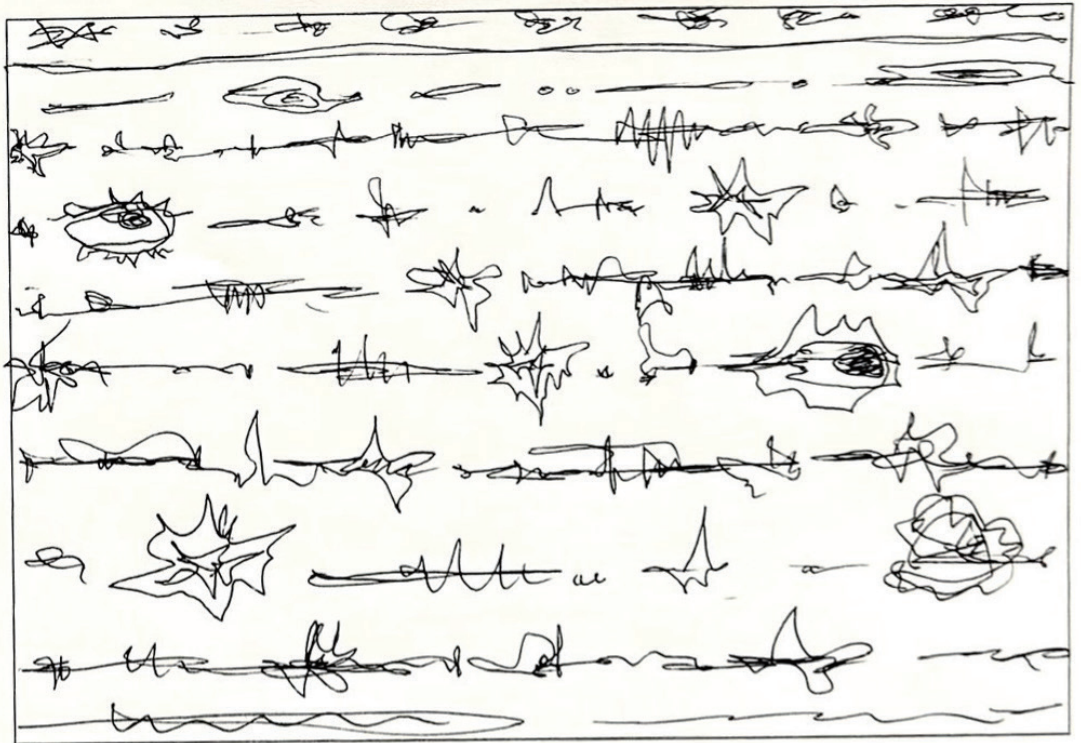
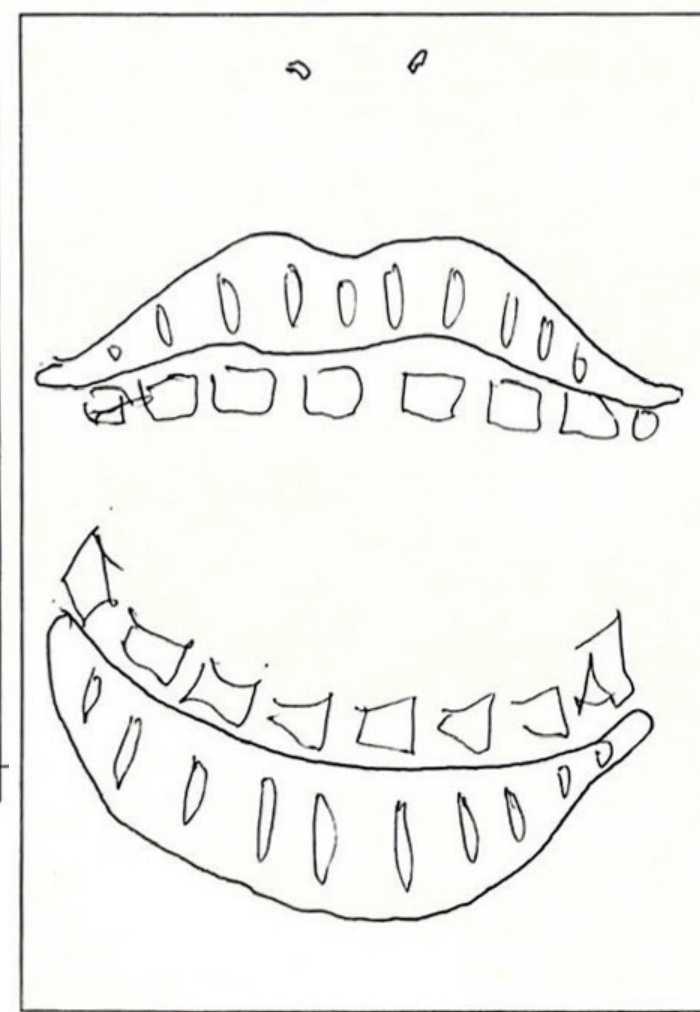
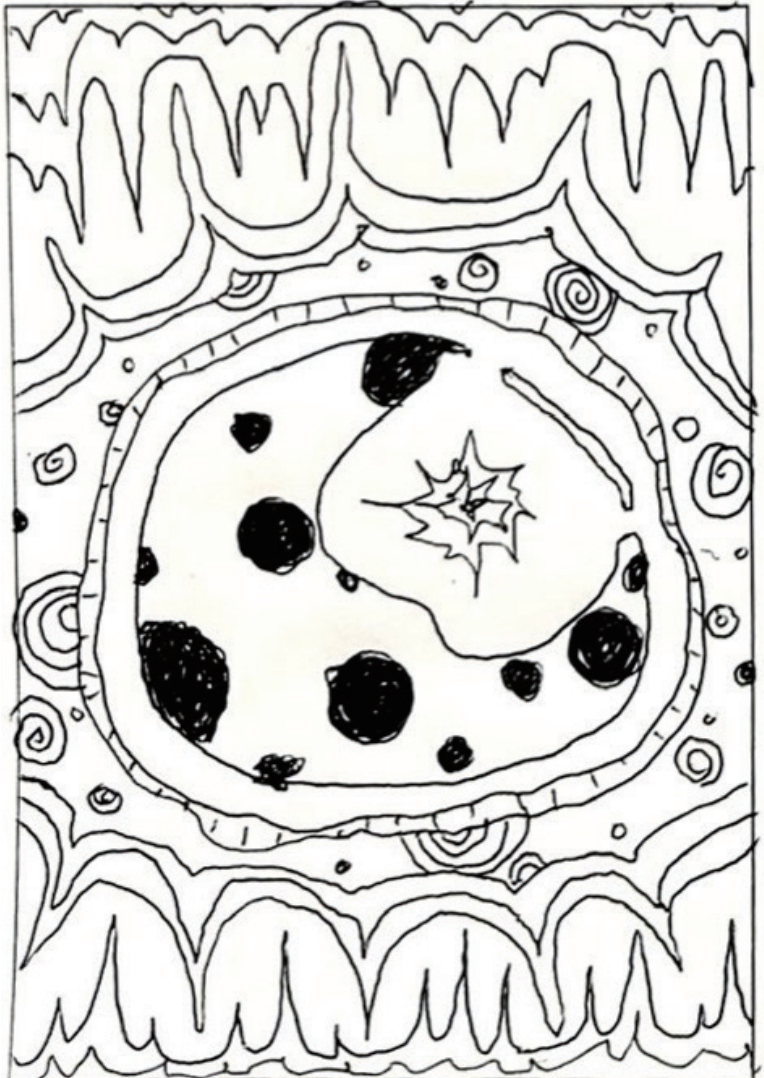
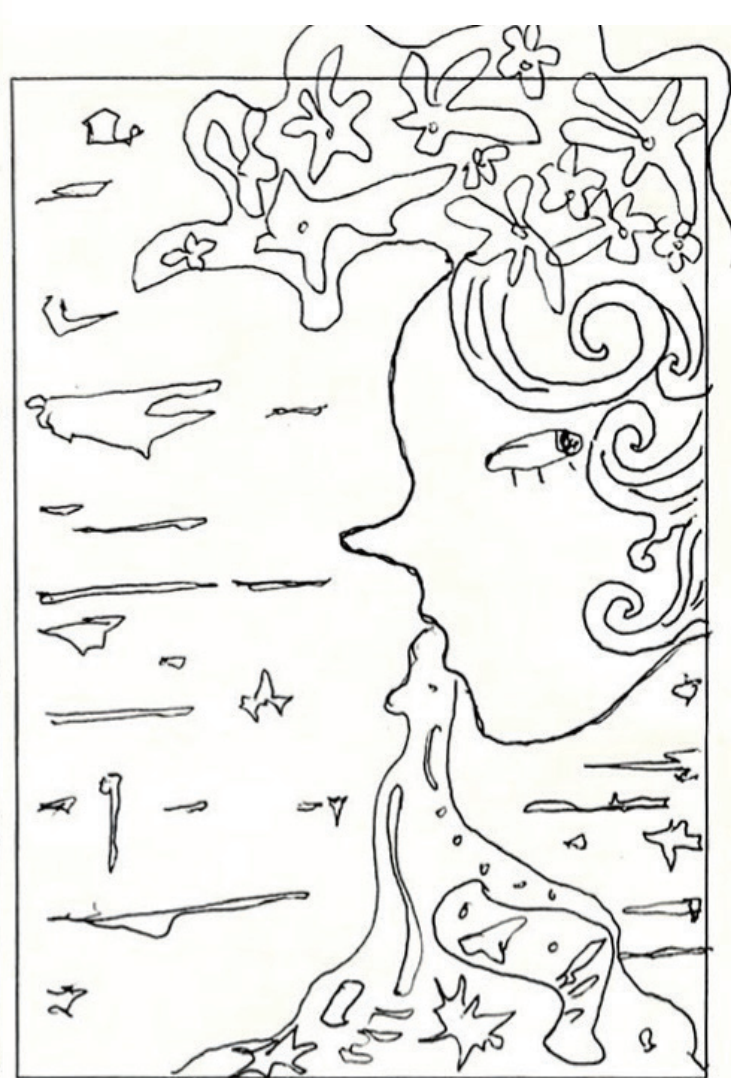
使用物

紙
ボールペン
パステル
ipad

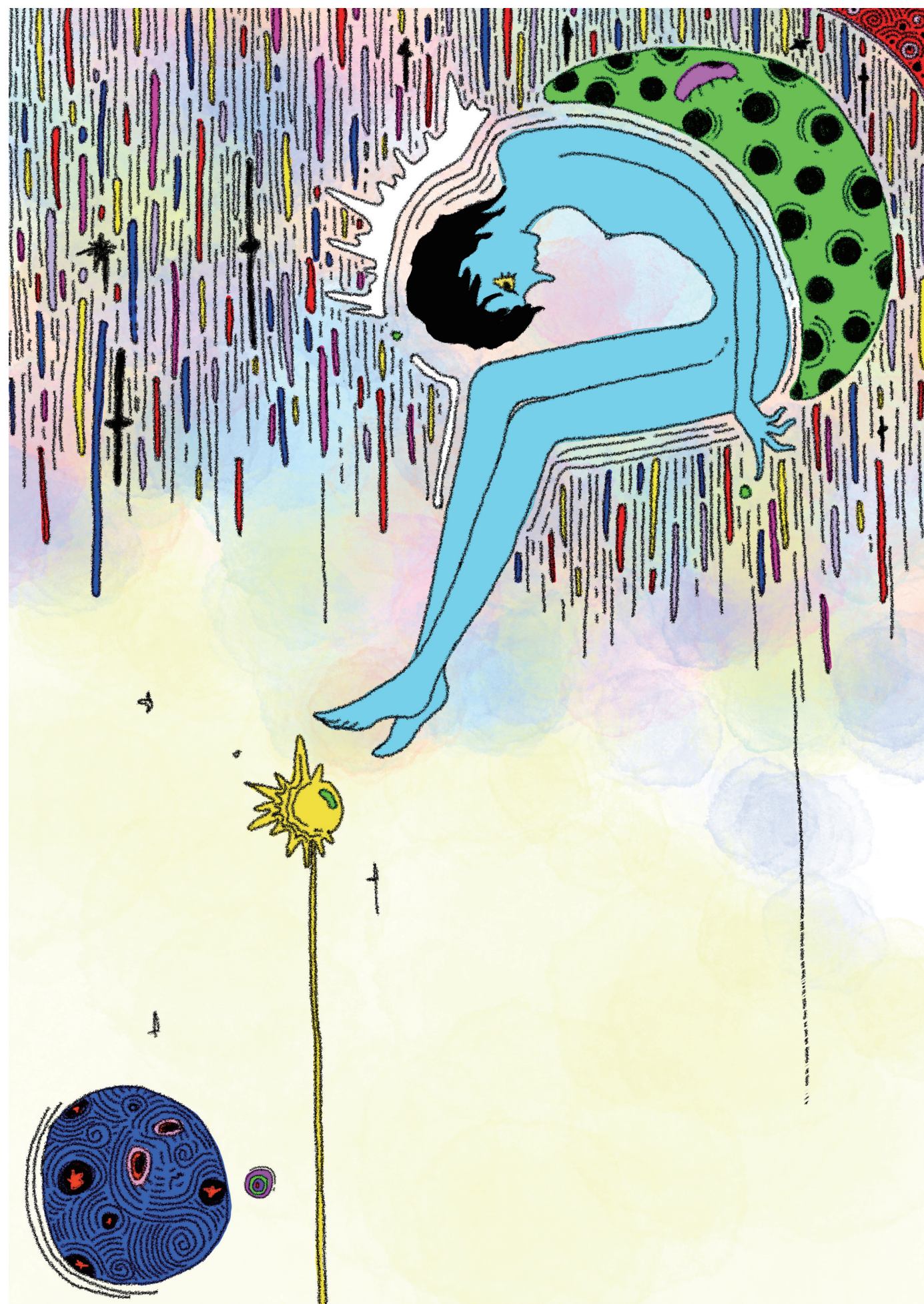
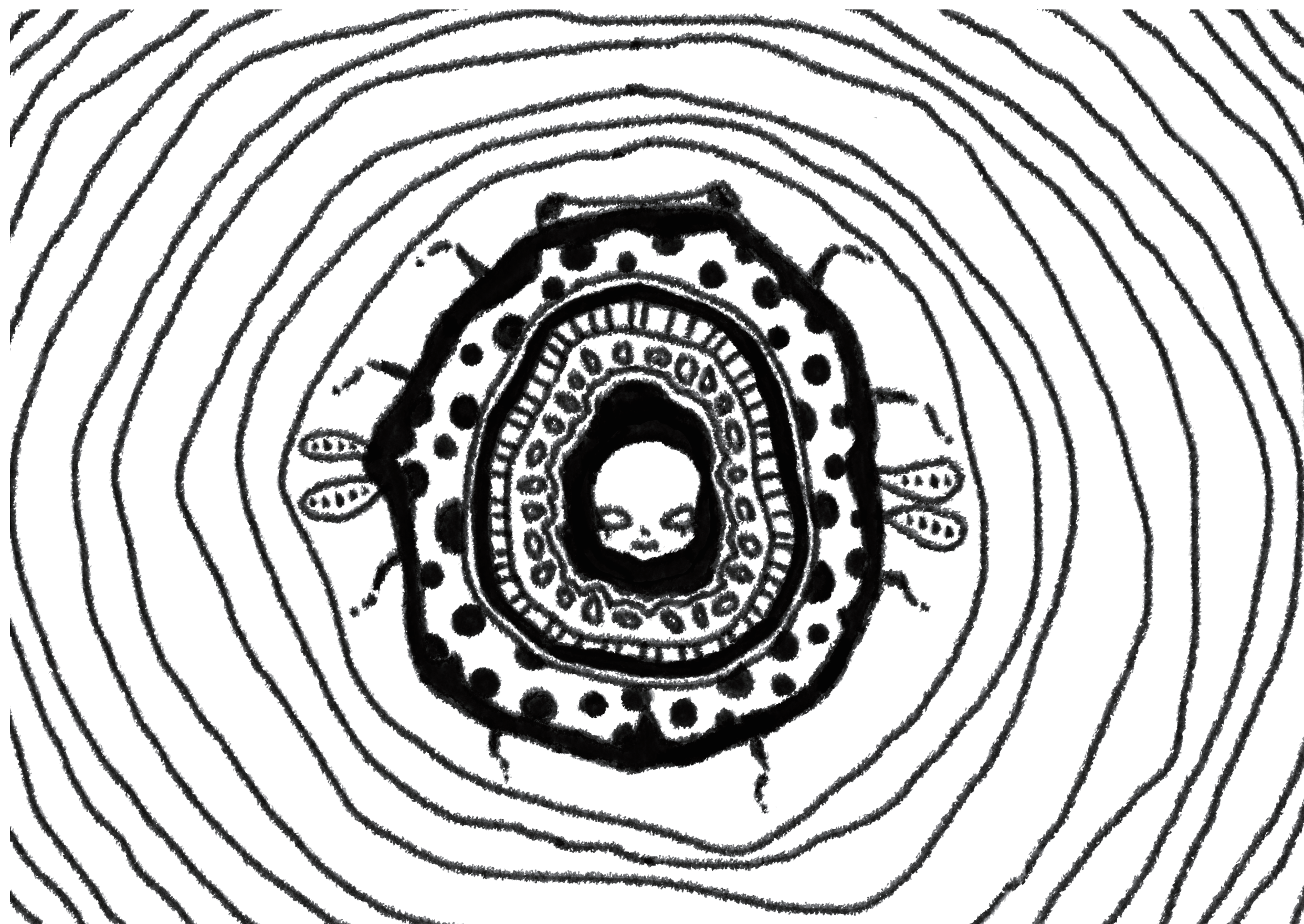


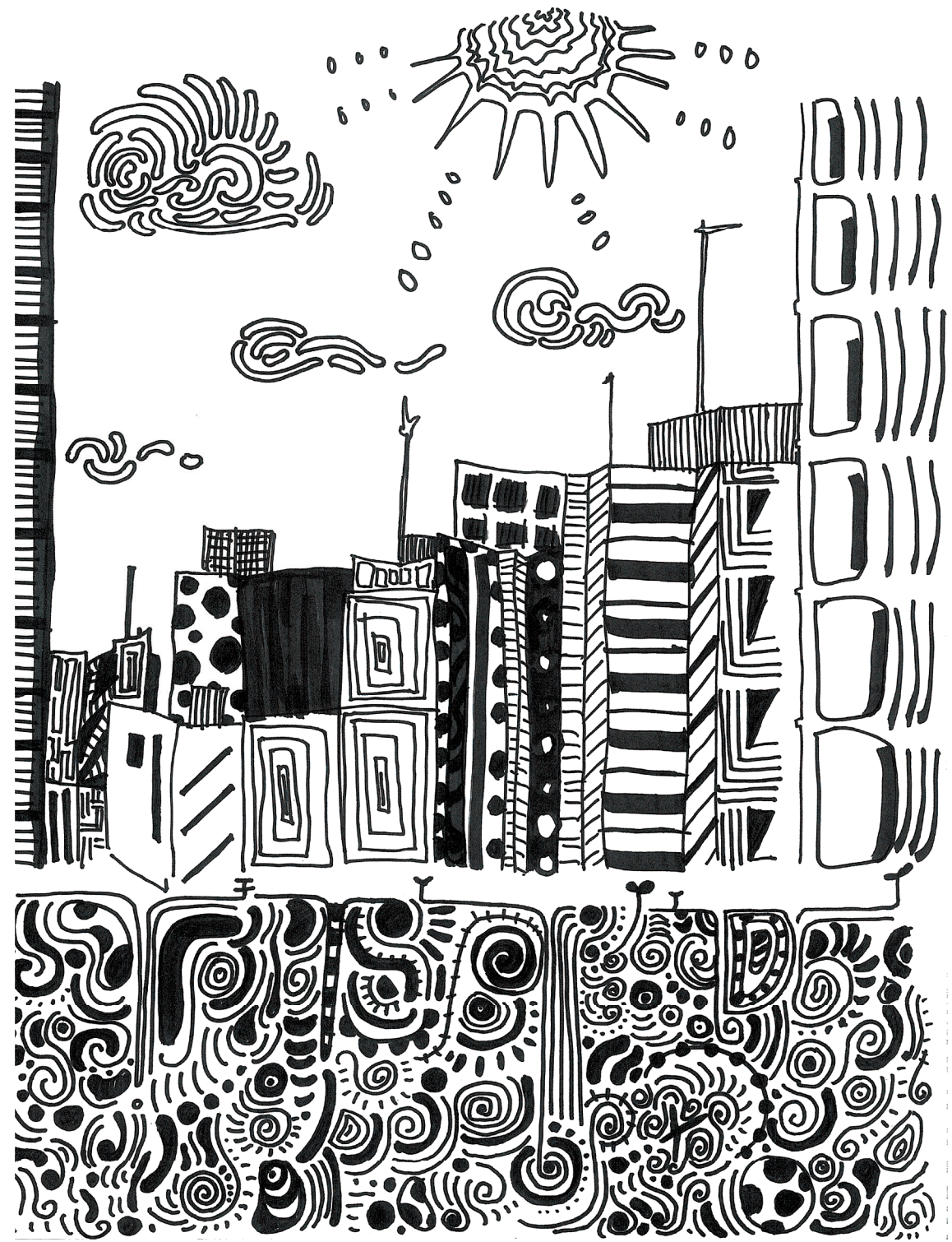
脳内ラフ

綿々なタイミングの綿々な妄想をギョル
ギョルとイラストに起こして脳みそから
溢れ出る感情を描きました。



米に空間に鬱々とした退屈





気持ちが追いつかない時 スケッチブックとマッキー片手に風を
浴びます。何も考えずに無心で目の前のものを呑み込み絵にする
時間は、頭を休め過ぎず、静かに心が軽くなる気がします。

東飯鬼ニ京

